

## 地球温暖化防止対策の推進

～ 二酸化炭素等の排出量の削減 ～

## 【重点分野の目標の達成状況】

二酸化炭素等温室効果ガス排出量の削減

【目標：排出量を1990年レベルに比べ6%削減】

2004年度の市内の温室効果ガスの総排出量は、基準年と比べ7.2%の減少

本市では、2004年3月に策定した「川崎市地球温暖化対策地域推進計画」に基づき地球温暖化防止への取組を推進しています。また、夏季の省エネ対策を始めとする様々な実践活動の励行を市民・事業者へ積極的に呼びかけています。

## 太陽光発電施設設置費補助事業

「太陽光発電」は、クリーンな自然エネルギーで、地球温暖化防止に貢献することから、学校等の公共施設にも導入を進めており、環境学習にも活用しております。

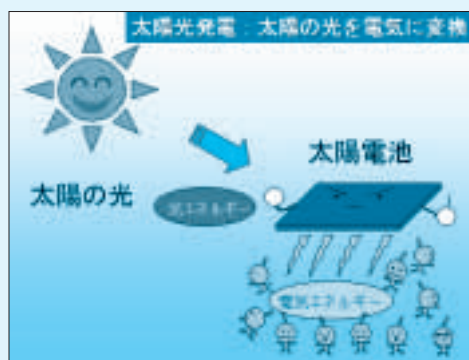
本市では、「太陽光発電」の普及を促進するため、平成18年度に住宅用太陽光発電施設設置費補助金制度を新設しました。



1kwのシステムを導入すると、年間で約1000kw発電します。

これは、CO<sub>2</sub>排出量660kg/年、石油消費量243リットル/年の削減につながります。

(新エネルギー財団ホームページ)

二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)

2004年度(速報値)の排出量は、2,304トン(二酸化炭素換算)で、基準年 と比べ1.1%の増加

メタン (CH<sub>4</sub>)

2004年度(速報値)の排出量は、1.6万トン(二酸化炭素換算)で、基準年と比べ26%の増加

一酸化二窒素 (N<sub>2</sub>O)

2004年度(速報値)の排出量は、25.5万トン(二酸化炭素換算)で、基準年と比べ30.1%の増加

## ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)

2004年度(速報値)の排出量は、6.5万トン(二酸化炭素換算)で、基準年と比べ34.8%の減少

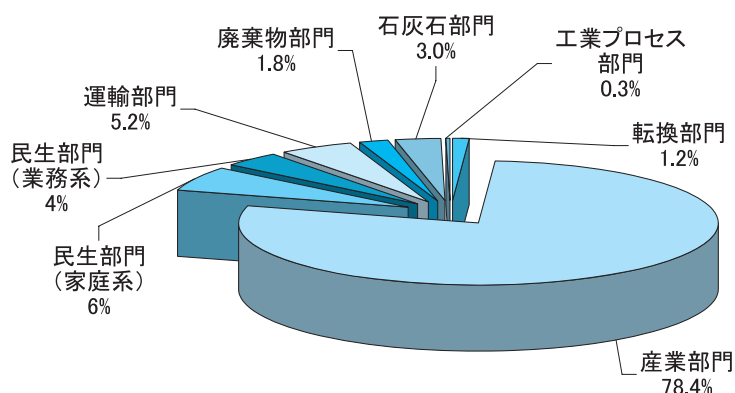
## パーフルオロカーボン類 (PFCs)

2004年度(速報値)の排出量は、2.2万トン(二酸化炭素換算)で、基準年と比べ94.2%の減少

六ふっ化硫黄 (SF<sub>6</sub>)

2004年度(速報値)の排出量は、23.9万トン(二酸化炭素換算)で、基準年と比べ88.1%の減少

基準年：二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素は1990年、その他は1995年



市内の二酸化炭素排出量の部門別構成比